

令和6年度研修会 計画案

1. テーマ案

道交法改正に伴う白ナンバー事業者のアルコールチェック義務化

2. 概要

2023年度12月1日から義務化される「白ナンバー事業者のアルコールチェック」について、記載されている文言解釈が曖昧なため、(仮)国土交通省ご担当者様 or 警察を招いて講演及び質疑応答を実施して、正しい実施方法や正しい知識を学ぶ。また、本案については、総務委員会からの依頼事項でもあるため、次年度計画に組み込みたい。

3. 実施計画

(1) 準備・勉強会等

- ①基礎知識の整理 : 運行管理者と安全運転管理者の違い、本改正法の対象範囲など
 - ケーススタディなどを作り、解釈の違いなどについて、会員企業の理解を深める。
 - 各会員企業の状況・事例を収集して、他社の気づきとなる情報を集める。

☆特に罰則の内容を明らかにし、欠格要件となるリスクが十分あることを注意喚起する。
- ②法解釈の整理 : 目視、写真・動画の有用性、アルコールチェッカーの仕様基準など
 - 行政の所轄部署に加えて、当協会顧問の芝田先生からの見解をいただく。
- ③企業としての対策 : AI点呼・アプリ活用、外部委託、役員の運転手雇用など
 - 会員企業のスタンダードとなる最低限の基準を提言したい。

(2) 講習会の開催

- 1 部: 警察庁を講師として講演(協会として依頼を出す)
- 2 部: 業者によるセミナー(候補会社: ナブアシスト)

(3) 機関誌「とうきょうさんぱい」への寄稿

4. 参考資料

- ・資料1: 警察庁 Web サイト_安全運転管理者の業務の拡充等
- ・資料2: 改正道路交通法施行規則_法解釈質問事項について
- ・資料3: 運行管理者と安全運転管理者の違い
 - ※別紙: 安全運転管理者の罰則とは | ビーキーお役立ち情報
- ・資料4: ケーススタディ案
- ・資料5: ナブアシスト社_白ナンバーウェビナー講演資料 【注!】昨年度版(義務化の日付など)

以上